

顧問

高垣 行男 氏

駿河台大学 名誉教授

沖縄国際大学(5年)、駿河台大学(21年)の勤務を経て2021年春に駿河台大学を定年退職して総合研究所客員研究員となる。

民間企業では、工学部(機械工学)を卒業後、外資石油精製会社でプラントエンジニアリングを経験し、新素材の新規事業に従事。大学院修了後、樹脂会社にて、経営企画、新規事業を担当し光学レンズの海外・国内マーケティング業務や製造責任者を担当。米国医療機器メーカーの日本法人で顧客対応マネージャーを担当。

国際大学で「日本企業の海外子会社の所有形態」をテーマに国際関係学修士(国際経営専攻)を、東京大学では「環境経営」をテーマにして博士(学術)を、そして、立教大学では「埼玉県西部地区や東京多摩地区の中小企業でのイノベーション」をテーマに博士(経営管理学)を授与される。

著書は、『環境対策の戦略化過程』(ボーダレス・エイジ,1998年)、『環境経営戦略の潮流』(創成社,2010年)のほかに経済経営関係で10冊。

